



名古屋の偉人伝

No.10

青木穠子(あおきじょうこ)の巻



名古屋市短歌会館

ここがスゴイ!

女性短歌会を主宰、私財を投じて名古屋市短歌会館を設立するなど、名古屋歌壇の発展に尽くした。

こんな人生を送ってきました(経歴)

本名は「志やう」。明治 17(1884)年、名古屋市西区下長者町(現在の中区錦)に生まれる。9歳で初めて短歌を作る。平塚らいてうらが明治 44(1911)年に結成した青鞥社せいとうしゃに入社し、文芸誌『青鞥』せいとうに多くの短歌を発表した。大正 7(1918)年には、「いそやまの松きわやかにあらはれてなみこそゆれのぼる朝日に」が、宮中の歌会始に入選する。大正 9(1920)年、女性短歌会「このはな会」を主宰し、後進の指導にあたった。

昭和 39(1964)年、自宅跡地に私財を投じて短歌会館を設立し、名古屋市に寄付する。また、館内に、自らの蔵書を元にした青木文庫を設立した。短歌会館は、現在も、短歌会をはじめ文化的行事に利用されているほか、図書室があり、本を閲覧することができる。

昭和 45(1970)年まで中部日本歌人会副委員長を務め、昭和 46(1971)年、86歳で亡くなった。

もっとくわしく知りたいあなたに(参考文献)

- 『愛知近現代女性史人名事典』(愛知女性史研究会／編集 愛知女性史研究会 2015年)
- 『母の時代 愛知の女性史』(名古屋女性史研究会／編 風媒社 1969年)
- 「名古屋歌壇を創った歌人たち: 青木穠子と浅野梨郷を中心に」小塩卓哉／著(『愛知県史研究 第18号』「愛知県史研究」編集委員会／編集 愛知県 2014年)
- 『芳舎漫筆』(青木穠子／著 名古屋市教育委員会 1975年)
- 『青木穠子遺歌集』(青木穠子／著 名古屋市教育委員会 1975年)